

# TEEP

進化型実務家教員  
養成プログラム

NEWS LETTER

VOL.45

TOPICS

## 文部科学省が実務家教員の制度や特色を広報する パンフレットを作成

文部科学省は、「持続的な産学共同人材育成システム構築事業」を2019年から5年間にわたり、4拠点を採択して実践的な産学共同教育の場やプログラムを提供するために不可欠な実務家教員(専攻分野における実務の経験及び高度の実務の能力を有する教員)の質・量の充実に資する取組を支援してきました。本事業終了後も、本学を含む4拠点では、引き続き実務家教員養成プログラムを継続して実施しております。

しかし、リカレント教育の運営、実施に必要な実務家教員が、全国の大学や企業等で十分に理解されていないという問題意識の下、実務家教員の大学等での理解の促進、引いては採用の促進に繋げるために、実務家教員の制度や特色を広報するためのパンフレットを作成することになりました。

内容としては、実務家教員養成事業の説明、実務家教員の事例紹介、各拠点の取組、実務家教員と採用する側を繋ぐマッチングサイトの取組等を掲載する予定です。

このパンフレットを全国の大学、高専、その他、実務家教員の活躍できる場であると思われる専修学校等へ配布し、文部科学省のWebサイトでも公表することで、広く周知します。本学も制作に協力しております。



### 教員メッセージ

#### 日本実務教育学会研究大会 で話題提供します



6月23日(日)、常葉大学・静岡草薙キャンパスで開催される、第4回研究大会シンポジウムに登壇する機会を得ました(テーマ:実務家に求められる教育力、教育者に求められる実務力)。前半は、私よりTEEPを通じ発展させてきた「実務領域診断カルテ」の考え方と効果、産官学民連携を通じた課題解決プログラムに内在する問題について、実例を交えて報告します。後半は、大会基調講演者(テーマ:実務教育学とは何か)の川山竜二先生(社会構想大学院大学)、日本初の経営専門職学科を立ち上げ実践的なプログラムを推進する今永典秀先生(名古屋産業大学)との鼎談です。化学反応をお楽しみに!

(経済学研究科 教授 鵜飼宏成)

### TEEP \NOW/

みなさん、こんにちは!

2024年度がスタートし、基本コースでは14名の受講生がお互いに刺激を受けながら共に学んでいます。

専門コース(まちづくり)も、2名の受講生が、他の大学院生と一緒に「都市政策」について学んでいます。

また、2024年度はTEEP修了生の中から、5名が「キャリアデザイン(実践編)」の非常勤講師として、他の5名は「ラーニング・コンパス」という大学での学び方を考える授業で、ファシリテーターとして活躍しています。

## 自分の経験が学生の新たな気付きにつながる面白さがあります

今回、名市大の「キャリアデザイン」の講師の機会を頂きました。研修講師など人前で話す経験はあり、実務経験を整理すれば「何とかなるかな」と、今思えば軽く考えていました。ところが講義の準備を始めると、それは想像以上に大変なことでした。

この科目は、自分の一皮むけた経験を振り返り、その経験でどのような能力を身に着けたのか、また自分のロールモデルとキャリアプランを説明する必要があります。キャリアデザインのモデルとして講義するわけですから、当然自分のキャリアを客観視できていないといけなわけです。

特にロールモデルの設定は、漠然と考えている自分の今後を可視化する作業で難航しました。ロールモデルは今後変わっていくと想定し、現段階のキャリアプランを作成し、何とか講義にこぎつけました。まさに自分をさらけ出すような気持ちです。

さて、講義では何気なく「ロールモデルは今後も変わっていく」と説明したのですが、これに何人かの学生さんから反応がありました。ロールモデルが変わっていくこと自体が発見だったそうです。これには大変驚きました。何気なく説明したことが、想定しない気づきにつながっていたためです。逆に、講師としての発言の責任を強く感じる出来事でした。

今回の教壇に立つまでのプロセスは、自身の実務やキャリアの理解を深めることになり、一つの修羅場であり、一皮むけた経験だったと感じています。自分の経験を整理して学生が新しい発見ができるよう伝える、これはまさに実務家ならではの醍醐味であり、強みだと実感しました。

一人でも多くの実務家が、ご自身の経験の発信に取り組むことで、よりTEEPが盛り上がると思います。

私立大学職員 河合良彦

## 地域活性学会 第16回研究大会を名古屋市立大学で開催します

【日 程】2024年 9月 7日(土)・8日(日)  
※フィールドリサーチ：9月 9日(月)

【会 場】名古屋市立大学  
滝子(山の畑)キャンパス  
3号館・2号館(懇親会は学生食堂)  
(名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑 1)

【テーマ】「挑戦のエコシステム」

【共 催】地域活性学会、  
名古屋市立大学都市政策研究センター

【テーマの趣旨】

産学官民の協働による挑戦者を支えるエコシステムとして、「挑戦者が安心して一步を踏み出すことのできる地域」「挑戦を応援する人にあふれている」(つなげる人、一緒に協働する人、できることを持ち寄れる人)、「挑戦の経験を伝えることをいとわない人にあふれている」の意味を込めています。



お知らせ

TEEPコンソーシアムでは、2024年6月6日(木)～6月19日(木)に「2024年度専門コース(経営実務)」および「2024年度専門コース(まちづくり)」の受講生を募集いたします。

具体的な募集方法については、Webサイトにてご案内しております。以下のURLよりご確認ください。

<http://teep-consortium.jp/>

## 公募情報

ピックアップ

- 東京工業大学  
教授または准教授の公募  
工学府産業技術専攻実務家教員  
ファイナンス分野
- 名古屋学院大学  
教授、准教授または講師の公募  
(マーケティング概論 他)